

ハダニ類の天敵資材導入によるグリーンな栽培を推進

石川農林総合事務所

ハダニ類は、高温乾燥条件下で多発し、梨では落葉等の被害を引き起こします。また、世代交代が早く薬剤抵抗性がつきやすいため、化学農薬に依存しないグリーンな栽培体系が求められていました。そこで、JA松任梨部会では、ハダニ類の天敵資材について防除効果の検証に取り組みました。

今回の検証では、天敵資材の設置を6月下旬に行い、ハダニ類の発生程度を慣行栽培と比較しました。その結果、ハダニ類の発生がピークに達した7月下旬から8月上旬では、天敵資材を設置したほ場で、慣行栽培より、発生数を少なく抑えられたほか、栽培期間中の殺ダニ剤散布を1回削減することができました。検証を行った生産者からは、被害が軽減されたため今後も設置を続けたいという意見があった一方、コスト面や設置期間中の防除のタイミングや使用薬剤の選択が難しいといった問題も明らかになりました。

高温期間の長期化や薬剤抵抗性の観点から、天敵資材の活用は今後、有効な防除体系のひとつになるため、今回の検証で得られた問題を解決し、グリーンな栽培技術の普及拡大に取り組んでいきます。



天敵資材（写真中央）設置の様子

問い合わせ先：農業振興部（076-276-0371）